

長崎大学歯学部同窓会 長崎県支部 平成30年度 学術講演会

ガムも咬める、調整も少ない保険でもできる総義歯作製法 ～大学では教わらなかったキーポイント～

講師：中島 啓一郎 先生（1期）



中島先生 ご略歴

なかしま歯科医院 院長
歯学博士

1986年 長崎大学歯学部 卒業

1990年 岡山大学大学院歯学研究科 卒業

1990年 岡山大学文部教官・助手

1995年 なかしま歯科医院・院長

1997年 日本補綴歯科学会専門医

2005年 岡山大学歯学部臨床教授

2011年 日本補綴歯科学会指導医

現在、関連する多くの書籍やDVDが発売され、多くの講習会も開催されていることから、総義歯治療は多くの歯科医師にとって悩みの種ではないかと思えます。私も、祖母が若くから総義歯で不自由にしていたので、総義歯を勉強したいと思い、地元の岡山大学の有床義歯講座で研究・学生教育に携わりました。大学で行われている総義歯作製法がベストだと信じていましたが、「下顎の義歯が浮く」「入れてるだけなら良いけど咬むと痛い」「義歯の下に物が入る」「しゃべりにくい」などうまくいかない症例もあり、開業後は多くの講習会を受講しました。そこで、多くの先生方のポイントを臨床に取り入れて工夫していくうちに、大学で学んだ総義歯作製法を少し変えるだけで、多くの総義歯患者さんの満足を得られるようになりました。今回は、そのポイントをお話しさせていただき、みなさんの意見もお伺いしてより良いものにしたいと思います。今回の総義歯作製法の実践には技工士さんの力が必要です。是非、技工士さんと一緒においでください。

(内容)

- 難症例の見分け方
- 閉口印象と咬座印象の優位性
- 人工歯排列は、生えていたところ？ 歯槽頂線の法則に従って？
ニュートラルゾーンの中？
→いい方法があります(新しい人工歯排列の基準・・・オクルーザルマップ)
- 再現性が高く、わかりやすい咬合高径の決定法は？
- 咬合平面の設定で義歯が浮かなくなる！
- 技工士さんへの簡単な指示で義歯が安定
(下顎前歯優先)(舌側化咬合)(オクルーザルマップの利用法)(局在化咬合)
- 面倒なフレンジテクニックを簡単に
- 自分でもできる安価で精度の高い義歯重合法
- 義歯装着時の調整のポイント

■ 日時：平成30年 7月 22日(日) 9:00～15:00

■ 会場：長崎大学医学部 ポンペ会館 (長崎市坂本1丁目12-4)

■ 会費：・長崎大学歯学部同窓会 会員 無料
・その他 1,000円

★ お申し込み締切 7月7日(土) FAXにてお申し込み下さい

FAX 095 - 813 - 8801

お問い合わせ先：たら歯科医院 095-813-8800 多良まで

お名前

ご勤務先

TEL()-()-() FAX()-()-()

にチェックを入れて下さい

[所属] 長崎大学歯学部同窓会会員 その他

[懇親会] ご出席 ご欠席 7月21日(土)20:00～ 会場:未定 会費:5,000円程度

※懇親会会場は、ご出席の方にあらためてご案内いたします。